

お茶女大生活

富田 守

目的 家政学に関する学部学科改組やカリキュラム改正により、生活科学の名称についての論議が家政学原論部会でも高まってきた。社会における学問の確立という視点から、生活科学を検討し、家政学と比較考察することを目的とする。

方法 家政学原論部会会報および著書等を参考にしながら考えを整理する。

結果 社会における学問として、家政学はかなり確立の度を強めてきているが、生活科学についてはまだかなり不十分である。

また、家政学と生活科学の名称の学問論的關係については、両者が同じであるとする考えと、同じでないとする考えに分けた場合、後者のほうが妥当であり、また、後者のなかでも、家政学と生活科学がまったく別であるとか家政学のなかに自然科学中心の生活科学が含まれると考えるよりも、生活科学のなかに家政学が包含されるという考え方のほうがより妥当であると考えられる。